

第3期中期目標期間における重点的取組【戦略3】

第3期中期目標期間における重点的取組に係るビジョン

徳島大学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを使命としている。第3期中期目標期間においては、「徳島の地（知）の拠点」として、地方創生及びグローバル化の視点から、産業界や行政さらには住民の期待に応え、地域振興の核となる「人材」教育や研究など、地域貢献に重点をおいた取組みを進めるとともに、本学の強みや特色のある分野では、我が国（あるいは世界）をリードする教育研究を重点的に推進することとし、資源の再配分による全学的な組織改革を基軸として、教育研究機能の強化を図る。

地域のニーズを踏まえた人材育成については、医歯薬学部に加えて、新たに設置した生物資源産業学部や理工学部における分野連携教育によりイノベーションの創出ができる人材、並びに世界で活躍するグローバルリーダー及びグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材を育成するとともに、大学院の新設・改組等による高度専門職業人を養成する。

また、本学の「理工系」、「生命系」の強みを活かし、特色である「酵素」、「LED」、「生物資源」領域などにおいて、先端酵素学研究所やポストLEDフォトリソグラフィ研究所の創設などによる研究拠点の形成や医歯薬学研究所、社会産業理工学研究所を中心に異分野融合型の最先端の特色ある研究の強化を図る。また、大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業の実現等により、大学の収益を上げる。

さらに、これら教育研究機能の充実強化を通じ、地域自治体や産業界等との連携を深めるとともに、徳島県が拳県一致で取り組む「V5東京『とくしま帰郷』総合戦略」の主要プレイヤーとして、「県内若者の地元定着」や「雇用の創出」などに大きな役割を果たし、徳島の地方創生に貢献する。

戦略3: 教育理念や入学者受入方針(AP)に基づく、入学志願者の資質や適性を多面的・総合的に評価・選抜する新しい入学者選抜の実施

【評価指標】 > APに基づく多面的・総合的評価手法による選抜の全学展開状況 > 入学志願者数 > アドミッションポリシーの認知状況

取組6 入試改革（徳島方式）の推進 > 高等学校教育及び大学教育の質的転換に対応した入学者選抜改革
 - 志願者の「確かな学力」を的確に把握する多面的・総合的な選抜方法（徳島方式）の導入 -

現状と課題

短期間で多くの受験者に対応するため、合理的な仕組み、最大公約数的な内容による入試方法となっており、知識面に重点を置かざるを得ない。

事業概要

新時代にふさわしい高大接続の実現に資するため、平成28年度設置の新学部で先行実施した、志願者の「確かな学力」を的確に把握する多面的・総合的な選抜方法（徳島方式）に係る検証・改善・全学的展開や、入学者の追跡調査に基づく入試・教育改革に取り組む。

目的及び重要性

◆新しい時代にふさわしい高大接続を実現するために策定された「高大接続改革実行プラン」の改革の方向性に即した、学力の三要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」）を踏まえた多面的・総合的な入学者選抜方法を構築する。
 ◆大学入学者選抜の改革にあたり、令和2年度導入予定の新テストを見据えた、入学希望者の多面的・総合的評価に基づく個別選抜方法の改革の推進。

事業の内容

- ◆実施主体となる総合教育センターを拡充
入試改革体制の強化を図り、令和2年度開始予定の新テストを見据えた個別選抜方法の改革を行う
- ◆入学希望者を多面的・総合的に評価する仕組の構築（システム改修含む）
- ◆入学者の追跡調査方法の構築・活用
- ◆先学部における入試を他学部へ展開
生物資源産業学部を導入した新たな個別選抜方法を検証・改善するとともに他学部への展開を目指す
- ◆広報活動の改善・強化
- ◆入試担当教員に対するルーブリックに基づく評価方法論の研修

取組内容

総合教育センターを再編し、高等教育研究センター（アドミッション部門）を設置

- ◆入学希望者を多面的・総合的に評価する仕組の構築・検証・改善（システム改修含む）
- ◆入学者の追跡調査方法の構築・実施・活用
- ◆広報活動の改善・強化
- ◆入試担当教員に対するルーブリックに基づく評価方法論の研修実施

**令和2年度実施予定
新テスト対応
「大学入学共通テスト」**

【評価指標】

- ・多面的・総合的な選抜方法（徳島方式）の全学的な展開状況
- ・入学希望者数
- ・入学志願者数
- ・入学者の追跡調査による点検・評価結果と入試改善への活用状況
- ・ルーブリックに基づく評価方法論の研修参加状況
- ・入試広報活動の浸透度等アンケート調査結果に基づく入試方法改善への活用状況

【求める人物像】

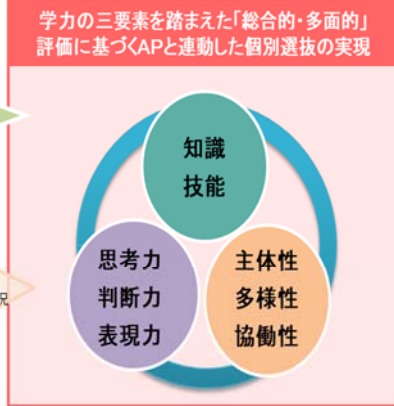
- ① 関心・意欲・態度
- ② 基礎学力
- ③ 探究力
- ④ 協働性

事業達成による波及効果等

「高大接続改革プラン」の重要な役割を担う「大学入学者選抜の改革を推進し、新しい時代にふさわしい「社会で自立して活動していくために必要な力」を備えた人材を輩出する教育システムの実現に資する

いち早く新たな個別選抜方法を導入するとともに、妥当性・信頼性の検証・改善を進め、令和2年度開始予定の新テスト（大学入学共通テスト）と連動した大学入試改革に対応

新学部の新しい個別選抜の検証・改善を経て他学部へ展開するだけでなく、他大学の先例となることで全国的な入試改革に波及



新たな個別選抜概要

1. アドミッション・ポリシーと連動した入学者選抜
 - ・ APに基づく「多面的・総合的評価」を実施。
 - ・ 「求める人材像」は細分化された評価項目（ルーブリック）と一貫して連動
2. 一般入試の総合問題は、教科横断的な記述問題と論述問題で構成
 - ・ 総合問題では教科単位の出題とはせず、複数教科を融合させ、多面的な思考力を問う記述式の問題を出題
 - ・ また、現代社会における諸問題への深い関心と、自らの考えを表現する「小論文」要素を含めた問題を出題

入学者の追跡調査等による検証・改善 他学部への導入

評価項目	総合教育センター	生物資源産業学部	理工学部	経済学部	文学部	法学部	教育学部	看護学部	歯学部	薬学部
総合問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人面接	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推薦書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志望動機書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学びの設計書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※総合問題の「探究力」「表現力」については、1つにまとめた上で重点評価項目として扱う
 ※集団討論の「表現力」「協働性」については、1つにまとめた上で重点評価項目として扱う